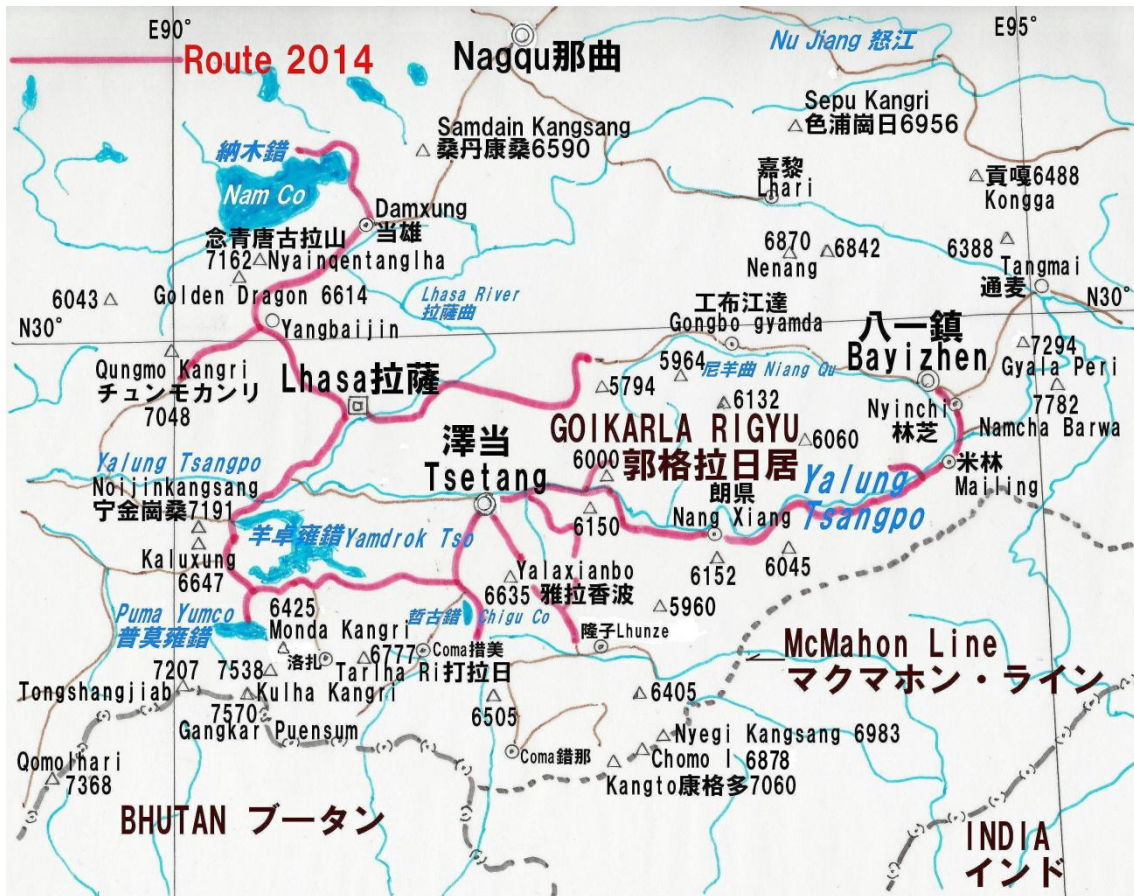


Blue Sky Expedition

南チベット 2014 年秋 4,500km—遠ざかる辺境

中村 保

踏査ルート



昨秋（2013）不用意にも哲古錯を見下ろす 5,000m 地点で高山病に倒れたため断念した踏査の雪辱、再挑戦である。今年は高度順化がうまくゆき、好天が続いて「晴れ男」であることが実証された。10月11日に成都を発って東チベットの林芝空港に着いてからラッサからシガツェに向った10月25日までの間、肝心のところで7日間快晴に恵まれた。これほど終日ブルー・スカイを楽しんだのは珍しい。「

Blue Sky Expedition」と冠する所以である。短期間にランド・クルーザーで4,500kmを走破した効率的な踏査行だった。

1. はじめに一許可問題

2008年北京オリンピック、ラサ暴動以降東・南チベットへの外国人の入域は年々難しくなっている。今年（2014）は統制・検閲が一段と厳しくなった。

メンバーはいつもの老年探検隊、中村保（79）、永井剛（82）、新谷忠男（70）である。ガイドは信頼のおける有能で英語の達者なチベット族のアワンである。不確定な状況の中で成果を収めることができたのは、いつものことながらアワンの人脈、調査・交渉能力と機転のお陰である。

8月には20年来の付き合いである四川大地探検会社を通じて早目に許可申請を始めたが、一筋縄ではいかなかった。当初の目的である未踏の郭格拉日居山群（ラサの東、東西約270km）とヤルン・ツァンポー南岸の知られざる6,000m峰の三つの山塊をターゲットとし、打拉日6,777m東面の写真撮影、あわよくば中国・インドの実効的な国境であるマクマホン・ラインへの接近を視野に入れた。

林芝地区の州都チベット自治区第3の都市、チベット軍区最大の基地でもある八一鎮を起点にしてヤルン・ツァンポー沿いに四つの県（米林、朗県、加查、桑日）を西に進み探査を行うルートを想定した。しかし、早めの手配にもかかわらず、第一回目の申請が却下されたのは10月8日出発予定の10日ほど前である。即座に第二回申請を指示し、エージェントの工作により最終的に許可証が航空便で届いたのは成都を発つ前日であった。土壇場に出発できた。許可証が無いと成都空港でチベット行きのチェックインはできない。かくして慌ただしく林芝空港へ飛び立った。入手した許可証は次の4種で西藏軍区の許可が最終的な効力がある。

- ①西藏自治区旅游局
- ②西藏公安边防总队—外国旅游团队入出境许可
- ③西藏军区军事设施保护委员会办公室
- ④西藏自治区外事办公室—外国人非开放地区入域许可（名簿付）

東チベットについて言えば、波密から然烏（カンリガルポに入口）までの川蔵公路は外国人に開放されているが、横道にそれることは許されない。また、林芝空港の近くには五つ星の豪華ホテルが建設中で、中国人観光客には宣伝しているナムチャバルワの見えるツァンポー大峽谷観光スポットに外国人を入れないのは不可解である。理解し難いのが中国である。

今年の統制の厳しさは異常とも言えるだろう。林芝空港で先ず許可証が調べられ、八一鎮の交換局にアワンが出頭し上記の書類を提示、通行許可証をもらった。以後、通過、滞在する県の公安には必ず出頭した。それだけでなく幹線道路沿いには公安・警察のチェック・ポストが随所にあり、そのたびに許可証を提示せねばならなかった。踏査が終わるまでに、数十か所のチェック・ポストで検閲を受けた。アワンは許可証のコピーを数十セット用意

して公安に渡していた。外国人の検閲とは別に、幹線道路では通行車のスピード・チェックが頻繁に行われていた。諸事厳しい規制、統制が実施されている。

神戸大・武漢地質大学のことを触れておこう。神戸大山岳会創立 100 周年記念事業として、来年（2015 年）に打拉日 6,777m 登山を計画し中国登山協会から内々の許可をもらい、今年我われの踏査と同じ時期に偵察隊を派遣する準備をしていた。しかし、西藏軍区の許可が取れず打拉日は諦めざるを得なかった。代わりに開放地区にある念青唐古拉山西部の 6,000m 峰の許可があり、こちらに転進することになり、偵察隊は 11 月 15 日に出発した。

2. 遠ざかる辺境、建設ラッシュ、チベット人への締付

ブータン国境、マクマホン・ライン（実質的なインドとの国境）に接する全ての県（洛扎、措美、隆子、錯那）は外国人オフリミットである。打拉日山塊のある措美県もその対象である。2005 年には NHK が「天空の湖」として紹介した普莫雍錯 4,980m (Puma Yumuco) も現在は外国人にたいする非開放地域に入っている。

9 月末から外国人のカイラス・ツアー、巡礼が突然禁止となった。チベット族でも特別の許可が必要である。その理由は西藏軍区の幹部は知っているだろうが、一般には誰に聞いても分からない。アワンに訊いても首を傾げる。例えばこんな根拠のない噂があると言う。曰く、アメリカで政府高官とダライ・ラマ 14 世が密談し謀議を謀ったとか、阿里の西で人民解放軍とインド軍が緊張状態にあるからとかである。こんな風聞の一方で、中国政府とインド政府はインド人のカイラス巡礼を容易にするための交渉をしている。現在、インド人巡礼はネパール経由でないとカイラスに行けないが、インド・中国の国境を越えれば行程は短くなる。その便宜を図るために両政府が交渉をしていると言う。

今回の踏査の後、ネパールに立ち寄るにあたり、アワンを同行させるつもりだった。しかし、パスポートの更新ができない。四か月前から県・州に申請していたが却下された。チベット族のパスポート取得は難しくなっている。2012 年にインドのダラムサラで行われたダライ・ラマ亡命政権の行事にたくさんのチベット族が訪れチベット自治区政府を驚かせ慌てさせた。彼らが帰国した時、政府は全員からパスポートを取り上げた。折しも、アワンはネパールに出かけ戻ったところで、彼もパスポートを取り上げられてしまっていた。今回アワンのパスポート更新の申請にたいして、古いパスポートを持ってこなければ新しいパスポートを発行しないと、山南地区政府からすでに無いものを要求されて断念した。インドに行ったチベット族はそれぞれが住む地区（例えば山南地区は澤当、林芝地区は八一鎮）で 3 カ月の思想再教育を強制的に受けさせられた。

チベット族への締付が続くなかで、建設工事ラッシュである。ラサから東への幹線道路、郭格拉日居山群の北側の川蔵公路と南側のヤルン・ツァンポー沿いの公路は高速道路の建設が始まっている。迂回していたヤルン・ツァンポーの加查と桑日間の峡谷帯は川沿いに新道ができ上がっていた。辺境の地に建設の槌音が響いている。インフラは急速に整備さ

れつつある。

青蔵高原鉄道の延長であるラサ・シガツェ間 260km は完成し 8 月から営業運転が始まった。早速乗ってみた。片道 3 時間の快適な汽車の旅だった。締付けられているチベット族に多大な利便性を提供している事実も書かないと片手落ちとなろう。ネパールのインフラが一向に整備されないのとは対照的である。

3. 踏査地域

郭格拉日居山群

ラサの東、ヤルン・ツァンポーの北側、支流のニアン・チュ（尼洋曲 Niang Qu）と川蔵公路の南側に東西 270 km の大きな山系、郭喀拉日居 Goikarla Rigyu が存在する。未探査の山域で踏査の記録はない。数座の未踏の 6,000m 峰があるが氷河は発達していない。幹線道路からは殆ど見えない。地味な山系で注目されてこなかったが、「ヒマラヤの東」全域踏査を補完するために、今回のターゲットにしたが成果は不十分だった。

ヤルン・ツァンポー南岸の山塊

長く気にかかっていた山塊である。情報としては全く空白部である。米林から桑日までの間に三つ山塊が旧ソ連 1 : 200,000 地形図に載っている。うち、朗県の南と東寄りの二つの山塊には氷雪と氷河が示されていて興味が唆られる。東の山塊には 6,045m 峰と柯馬干布 5,861m があり、南の山塊は四つの 6,000m 峰を擁するボボナム・チプラ山塊である。両者とも辛うじて写真に収めることができた。桑日の東、新道からヤルン・ツァンポー越えに見上げる 6,150m の岩峰の連なりは壮観である。予期しない発見であった。

中国・ブータン国境－普莫雍錯（Puma Yumco）からの遠望

普莫雍錯 4,980m（Puma Yumco プマ・ユム湖）から南に望む大パノラマは国境上の未踏の東商夾布 7,207m（Tongshangjiabu）、6,833m 峰、韓国隊（POSCO Alpine Club）が無許可で 2002 年 9 月に初登頂したカンブーカン I 峰 7,204m（Kangpu Kang I, 別名 Shimokangri）、1999 年に日本隊が初登頂した良崗崗日 7,535m（リャンカン・カンリ Liangkang Kangri）、世界最高の未踏峰・崗嘎普松 7,570m（ガンカー・プンスム Gangkhar Puensum）から更に東に 6,600－7,000m 峰の連なり、中国領内のジエシアン（Jiexian）6,875m、クーラ・カンリ（Kulha Kangri）主峰 7,538m、中央峰 7,418m、東峰 7,381m、ゲレンジアン（Gerenjian）主峰 7,221m、モンダ・カンリ（Monda Kangri）6,425m ま

で見渡せる。壮観である。なお、1994年からブータンでは6,000m以上のピークの登山は地域の宗教信仰に反するとして禁止され、2003年以降登山は完全に禁止されている。

ラサ / ヤルン・ツァンポーの南、「山南」の山塊

ラサとクーラ・カンリの間およびその東の顕著な山塊と主なピークも視野に捉えることができた。寧金崗桑 7,191m (Nojinkangsang) は1986年4月に中国西藏登山隊が初登頂、カルシュン 6,647m (Kaluxung) は2005年9月に慶応大隊が初登頂している。

聖山・雅拉香波 6,635m (Yalaxianbo) の主峰は2007年10月に山形県山岳連盟が初登頂僅かに低い鋭角的で顕著な南峰は未踏である。

打拉日 6,777m (Tarlha Ri) 山塊は2000年に日本ヒマラヤ協会隊が西面を偵察し、6,480mのピークを登ったが、主峰 6,777mと他の五つの6,000m峰は未踏である。打拉日山塊の北の雪尖傾日 6,106m (Xoijian Qeri) 山塊も未踏である。今回写真に収めることができた打拉日山塊から南にブータン国境に連なる6,000峰は全て未踏である。

マクマホン・ラインへ

西藏軍区と公安辺防隊の許可が取れず、隆子県の解放軍のチェック・ポストの手前からひき返さざるを得なかったため、マクマホン・ラインの至近までは行けなかったが、康格多カント (Kangto)、チョモ I 峰、II 峰 (Chomo I, II)、ネギ・カンサン (Nyegi Kangsang) の遠望を写真に収めた。

山域について解説しておこう。

1913、1914年に中国、英国、チベットの三者で行われたシムラ会議が中国・インド国境問題の発端となった。英国全権のマクマホンがブータンから東の地域の国境を主にヒマラヤ主脈に画定する提案をした。この時に地図上に書き入れた線がマクマホン・ラインである。インドはマクマホン・ラインまでアルナチャル・プラデッシュ州の一部として実効支配しているが、中国はこれを国境とは認めず、ブラマプトラ川平野部の北辺沿いを国境と主張している。マクマホン・ライン上には25座を超える6,000m峰が連なる。嘗ってアッサム・ヒマラヤと呼ばれていた。

西のゴリチェン 6,488m (Gori Chen) は1939年にビル・ティルマンが探査、1966年にインド隊が初登頂した。現在ではポピュラーな山塊となっている。盟主カント 7,060m (康格多 Kangto or Kanggardo Rize) は1939年に英国隊が失敗 (1人遭難死)、1988年3月に同志社大隊がチベット側から北西稜初登頂に成功した。ゴリチェンとカント以外は全て未踏峰である。カントの東ネギ・カンサン 6,983m (Nyegi Kangsang 中国名 Tui Kangri) の間に秀麗なチョモ I 峰 6,878m、II 峰 6,710m (Chomo I, II) がある。

念青唐古拉山西部と納木措

長大な念青唐古拉山西部は西から北東に四つのグループに便宜上分類される。

窮母崗日 7,048m (Qungmo Kangi)

念青唐古拉山 7,162m (Nyainqentanglha)

ラガエン(Lagaen)グループ 念青唐古拉山と桑丹康桑の間

桑丹康桑 6,590m (Samdain Kangsang)

開放地域であること、晴天に恵まれたこともあって、窮母崗日 7,048m の南面に入り、当雄から 5,190m の峠を越えて聖湖・納木措 4,718m の北岸に行って、初冬の雪化粧をした念青唐古拉西部連山が紺碧の納木措に映える姿に感動することができたのは幸運であった。

Holy Mountains-Yalaxianbo 聖山—雅拉香波



Yalaxianbo, Main peak 6635m (left) climbed, South peaks 6495m/6542m (right) unclimbed, west face、主峰 6635m は登頂済み

Tarlha Ri, Lake Shegu & Peaks close to Bhutan border

打拉日、哲古湖 & ブータン国境に近い山



(From left) 下拉拉崗 Xialala Kang 6682m, 打拉日主峰 Tarlha Ri 6777m、6542m, East face, 東面、viewed from a pass (吉尔拉) 5130m to southwest. All peaks remain unclimbed. 全て未踏峰



Lake Chigu and sheep、哲古錯と羊の群れ



Pk 6100m+ N face 16km N of Bhutan (central), ca.6000m Pk (right), all unclimbed
ブータンの北 16km に位置する 6100m+峰北面 (中央)、ca.6000m 峰 (右) 全て未踏峰



6000m Pks close to Bhutan border. All unclimbed. ブータン国境に近い未踏の 6000m 峰

Peaks on/close to McMahon Line マクマホン・ライン上/に近い山



5960m Pk east of Lhunze, west face
隆子の東、西面、Unexplored 未探査



6505m Pk north of Cona, north face
錯那の北、北面、未探査



6505m Pk north of Cona, north face
錯那の北、北面、未探査



Probably Kangto 7060m north face on
McMahon Line, first climbed by Doshisha
康格多北面と推定, 同志社隊初登頂



Chomo I 6878m (left) II 6733m (right) N face on McMahon Line, unclimbed
マクマホン・ライン上の未踏峰、Chomo I 峰 (左) と II 峰 (右)

Veiled Mountains on the south bank of Yarlung Tsangpo

ヤルン・ツァンポー右岸（南側）の隠れたる山々



Yarlung Tsangpo and rock peaks on south bank ヤルン・ツァンポーと岩峰



Rock Pk 6150m north face, unclimbed
未踏峰



Qipula massif 6045m W face, unclimbed



Bobonung massif 6000m N face, unclimbed



Bobonung massif 6152m W face, unclimbed, south of Nang Xian 朗県の南、未踏峰

Goikarla Rigyu 郭格拉日居 (all unclimbed 全て未踏峰)



5964m Pk north face



Holy mountains "Worde Kongge" 6000m
north face 聖山 "沃德貢杰雪山" 北面



Holy mountains "Worde Kongge" 5725m
north face 聖山 "沃德貢杰雪山" 北面



5700m Pk west face southeast of Meila
Shan pass 5020m 米拉山峠の南東



5794m Pk west face southeast of Meila
Shan pass 米拉山峠の南東

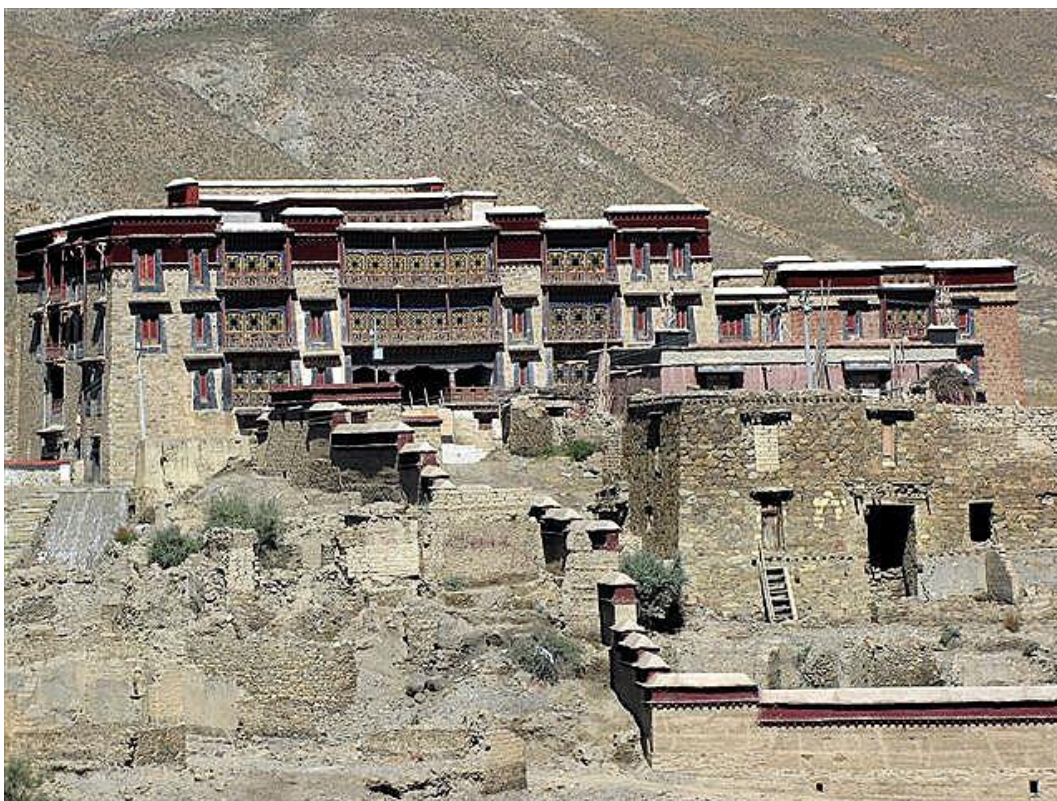


6060 Pk north face seen from Bahozhen
川藏公路・巴河鎮からの展望

Palaces and wild animals 宮殿と野生動物



Blue sheep ブルーシープ



Old palace in Songqu 古い宮殿 (松曲)

Kulha Kangri massif & mountains to southwest

クーラ・カンリ山塊 & 南西の山々



Karejiang Main 7221m NW face (left), Kulha Kangri I 7538m N face (right)
and Yamu Yumco 5000m



Unclimbed 6600 - 7000m Pks ranging to southwest from Kulha Kangri



Gankhar Puensum 7570m N face (left)
highest unclimbed peak in the world,
Liankang Kangri 7535m (right) climbed



禁断の Tongshangjiab 7207m, north face,
unclimbed

Monda Kangri, Nojinkansang & Kaluxung

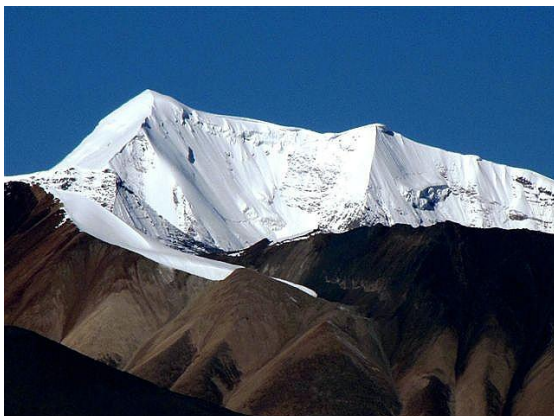
モンダ・カンリ、宁金崗桑、カルシュン



Monda Kangri 6425m N face, climbed



Kaluxung 6647m (right) & Yamdrok Tso



Kaluxung E face, climbed by Keio AC



Nojinkansang 7191m E face, climbed

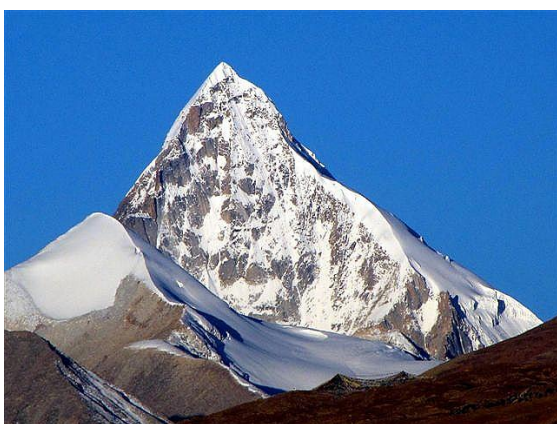
Nyainqentanglha West 念青唐古拉山西部



Qinghai-Tibet Plateau Railway 青藏高原鉄道



Nam Co 4718m & Nyainqentanglha West, N face 納木錯と念青唐古拉山西部北面



Golden Dragon 6614m W face, climbed



Qungmo Kangri 7048m E face, climbed
チュンモ・カンリ、羊八井付近より展望



Nyainqentanglha I 7162m N face, climbed 念青唐古拉山 I 峰（主峰）北面



Samdain Kangsang 6590m E face, climbed 桑丹康桑東面

東チベット林芝県 ヤルン・ツアンポー大峡谷 ナムチャバルワ 7782m

Namcha Barwa 7782m W face viewed from Seti La 4500m



Namcha Barwa 7782m west face viewed from Seti La 4500m Sichuan-Tibet Highway





